

をつくるだけでなく、間伐材の熱源利用や木材自体の二酸化炭素吸収による地球温暖化対策につながるるとともに、森林からの排出負荷削減にも寄与するものです。



出典：令和3年度森林・林業白書（林野庁，2022年5月）

なお、川崎町内の森林は国有林が 8,865.96ha(41.3%)、民有林のうち県有林が 662.65ha(3.1%)、町有林が 1,823.11ha(8.5%)及び私有林が 10,130.08ha(47.2%)となっており、私有林が比較的多く、所有者一人一人が大事な資源としての森林を守っていこう、育てていこうという意識を持つことが重要です。

(2) 取り組みの内容

①

自然地域対策

森林等自然地域からの降雨等に伴い流出する負荷の削減のためには、造林・保育、治山施設の設置等による森林の適正な管理が有効であることから、第7期計画においても、川崎町及び村田町の森林整備計画に基づく森林整備事業や、県による県有林保育事業及び治山事業並びに東北森林管理局による宮城南部国有林の地域別の森林計画書に基づく適正な森林施業の実施等を計画的に推進しながら、森林を適正に管理していきます。(第4章2(4)③再掲)

なおまた、県では、自然地域における負荷について、間伐等の施策の実施による負荷削減効果について、引き続き調査を実施します。また、間伐等の施策を推進するために、釜房ダム流域の木質バイオマス発電施設などと連携するなど、間伐材の活用に関する検討を行います。これらの調査研究については県の森林部局と連携をとりながら進めます。(第4章3(3)再掲)

令和元年度からは森林環境譲与税が市町村に配分され、市町村が主体となって

管理が行き届いていない森林の経営効率化及び森林管理の適正化を図る取組が開始されており、川崎町及び村田町が県の森林部局や各森林組合と連携しながら、適正な森林管理を実施していきます。第4章2（4）③再掲

②

農業地域対策

川崎町では、側条施肥機の導入支援を行うとともに、未整備区域のほ場整備を推進します。県では「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」による農業の持続的な発展及び環境と調和のとれた農業生産を推進するとともに、未整備区域のほ場整備なども推進することで農業地域からの負荷の削減を図ります。

なおまた、環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（令和4年法律第37-3-7号）に基づき、農林水産省において環境にやさしい農業の普及をはかります。（第4章2（4）①再掲）

工場や事業所などから環境中に排出される水について、排出された段階での負荷量のこと。負荷量は水質濃度に流量を乗じて算定する、単位時間あたりの汚濁物質の量を指す。

・ばっ気循環

主に貯水池で行われている水質対策の一つで、下層への空気の注入で鉛直方向に循環を生じさせること。湖水の循環により、水面近くに発生する植物プランクトンの異常な増殖を抑制すること等を狙いとしている。

・肥培管理

作物を育てるときの様々な管理のこと。耕うん、整地、種まき、かんがい、排水、施肥、除草等。

・富栄養化

湖沼や内湾などの水域で、窒素やりんなどの栄養塩が増加すること。現在では様々な人間活動による過度な富栄養化が植物プランクトンの過剰な発生などを招き問題となることがある。

・フォルミディウム

湖沼などに発生するプランクトンのうち *Phormidium* 属に含まれるもの。フォルミディウムが生産する 2-MIB という物質は、上水道のカビ臭の一因となる。

・(環境) 負荷

人の活動等によって環境に加えられる影響で、環境の保全上の支障の原因となるおそれのあるもの。ここでは、水質に影響を与える有機物や窒素、りん等を指す。

・ペレットストーブ

~~木質ペレットという、間伐材や製材加工の際に発生した木くずなどを圧縮した固形燃料を用いるストーブのこと。~~

・ほ場

水田、畑、樹園地、牧草地など農作物を栽培するための場所のこと。

ま

・面源負荷

森林、田畑、市街地からの流出水のように、面的に広がって排出源が特定できない汚濁源から発生する負荷のこと。

や

・有効貯水容量

ダム湖に溜まる土砂のための容量を除き、実際にダムが溜めることのできる水の量。

・溶存態全窒素 (DTN)

ろ過水中にある ~~分子状窒素 (N_2)~~ を除く 全 ~~す~~ べ ~~て~~ の窒素の濃度のこと。

・溶存態全りん (DTP)

ろ過水中にある 全 ~~す~~ べ ~~て~~ のリンの濃度のこと。

・溶存態 COD (DCOD)

ろ過水中の有機物を酸化剤で酸化させたときに消費される酸素の量のこと。溶存態の有機物による汚濁をはかる指標の一つ。

- ・ **溶存態有機炭素 (DOC)**

ろ過水中の有機物の総量を、有機物に含まれる炭素量で表したもの。溶存態の有機物による汚濁をはかる指標の一つ。

ら

- ・ **流入負荷量**

工場や事業所などから環境中に排出された水が河川を流下し、水質測定地点等に到達した段階の負荷量のこと。汚濁物質は河川を流下する過程で河川の自浄作用を受ける。負荷量は水質濃度に流量を乗じて算定する、単位時間あたりの汚濁物質の量を指す。